

平成29年度 介護ロボット導入調査研修事業アンケート

コミュニケーションロボット パロ

2018/4/19

宮崎県老人保健施設協会

●【利用者について】

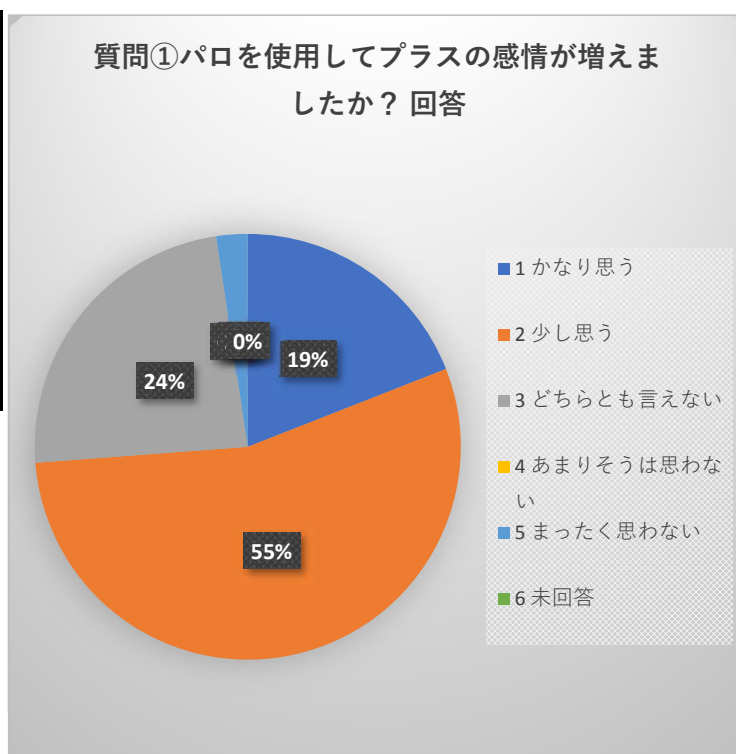
◆質問①パロを使用してプラスの感情が増えましたか？

| | 選択項目 | 回答 | 割合 |
|---|------------|------|--------|
| 1 | かなり思う | 8 | 19.0% |
| 2 | 少し思う | 23 | 54.8% |
| 3 | どちらとも言えない | 10 | 23.8% |
| 4 | あまりそうは思わない | 0 | 0.0% |
| 5 | まったく思わない | 1 | 2.4% |
| 6 | 未回答 | 0 | 0.0% |
| | 合計 | 42 | 100.0% |
| | 平均 | 2.12 | |

例・笑顔や喜びを表すことなど

■具体的な理由を教えてください。（主なもの）

- ・認知症があり、何であるか理解できない方には、恐怖感が強い印象を受けた。（2件）
- ・普段から笑顔が見られる利用者について、かわいがることで笑顔が見られた。（3件）
- ・動いたりすることで笑っていた。（5件）
- ・大きな声で笑ったり、子供をあやす様な仕草をしていた。
- ・入所者さんも触っていた職員も明るい声でニコニコしていた。
- ・パロが動くのを見て声を出して笑っており、自分から触れていた。
- ・利用者が興味を持ち、声掛けされたりしていた。（4件）
- ・喜ばれる人と嫌がられる人に分かれた。
- ・笑顔と笑いが多く見られた。（7件）
- ・通所の利用者がパロとふれあい、笑顔と喜びが見られた。特に女性の利用者に好評であった。
- ・かわいいという声があがっていたから利用者のプラスの感情を感じた。
- ・初めはよかったが、持続しない利用者もいた。
- ・女性は笑顔が増えた利用者もいたが、男性は多くなかった印象である。
- ・生きているような動きをするので触る方が多かった。
- ・利用者同士の会話も増え、場が和んだ。
- ・パロの声や動きに反応して笑ったり、声を掛けたりしていた。
- ・自分のペットようにかわいがり、笑顔が見られた。
- ・今まで見せない表情を見せた利用者がいた。
- ・不穏の見られる利用者がやさしい表情で笑っていた。
- ・パロに触れることで笑顔が増えたが集中力が切れると不穏になったりする。



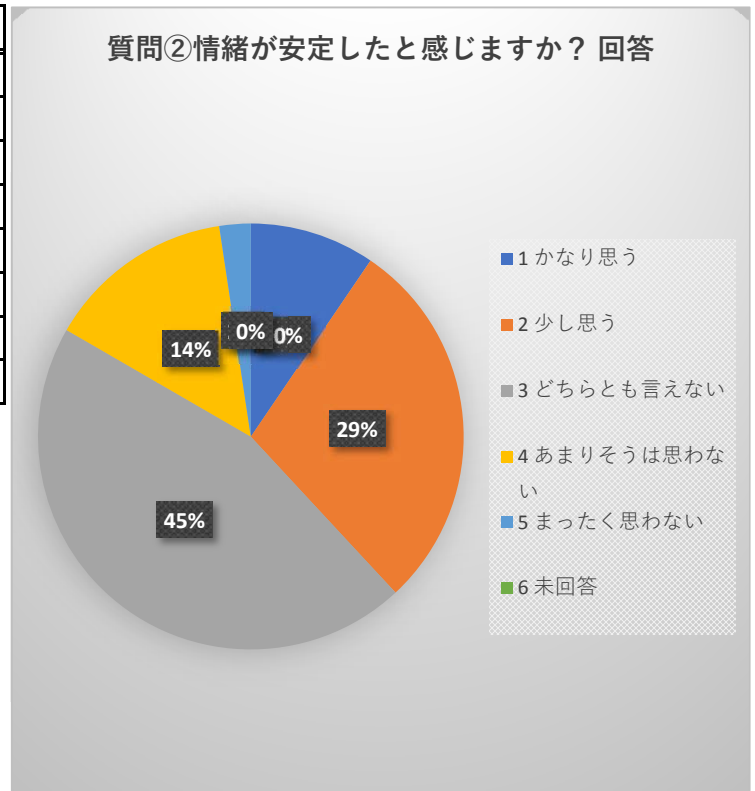
◆質問②情緒が安定したと感じますか？

| | 選択項目 | 回答 | 割合 |
|---|------------|------|--------|
| 1 | かなり思う | 4 | 9.5% |
| 2 | 少し思う | 12 | 28.6% |
| 3 | どちらとも言えない | 19 | 45.2% |
| 4 | あまりそうは思わない | 6 | 14.3% |
| 5 | まったく思わない | 1 | 2.4% |
| 6 | 未回答 | 0 | 0.0% |
| | 合計 | 42 | 100.0% |
| | 平均 | 2.71 | |

例：大声を出すことが減った・怒りっぽさが減った・他の方とのトラブルが減った

■具体的な理由を教えてください。（主なもの）

- ・理解できる方には、撫でたり話しかけたりと接している間は穏やかでした。
- ・帰宅願望を訴え中の利用者の興奮が収まった。
- ・言葉かけの時やわらかい口調だった。不安な要素・訴えが少なかったと思う。
- ・説明しても分かっていない利用者がいた。
- ・一時的で長くは続かない。（2件）
- ・パロを見て落ち着かれたり、話しかけたり情緒が安定している。
- ・大声出す人には、どちらか言えば効果がない。
- ・認知症の対象者については、パロとふれあっている時は、おとなしかった。
- ・興味が持続しないから情緒が安定したとは感じなかった。
- ・情緒が不安定な利用者は、興味を示さなかった。
- ・触っている間は笑顔が見られていた。
- ・一人の人を対象としての経過を追えていない
- ・トラブルのある利用者については、興味を示さない。
- ・いつもより大声が減り、落ち着いた表情が見られた。
- ・一部の利用者には、効果がすぐ現れた。
- ・パロを抱っこしている利用者を見ると精神的に落ち着いて見える。
- ・ロボットを接している時は、楽しそうにされていた。
- ・徘徊される方が落ち着いていた。



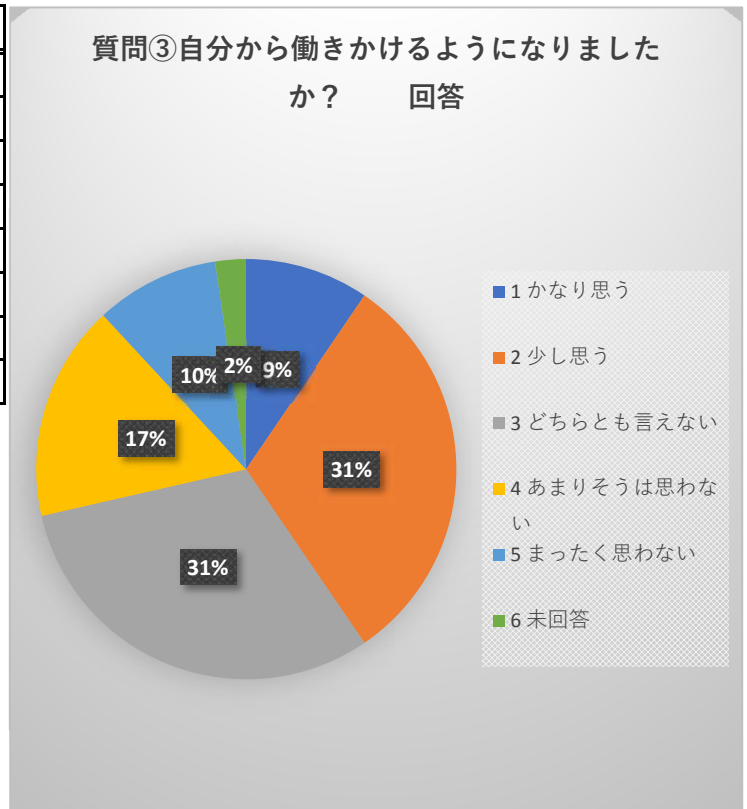
◆質問③自分から働きかけるようになりましたか？

| | 選択項目 | 回答 | 割合 |
|---|------------|------|--------|
| 1 | かなり思う | 4 | 9.5% |
| 2 | 少し思う | 13 | 31.0% |
| 3 | どちらとも言えない | 13 | 31.0% |
| 4 | あまりそうは思わない | 7 | 16.7% |
| 5 | まったく思わない | 4 | 9.5% |
| 6 | 未回答 | 1 | 2.4% |
| | 合計 | 42 | 100.0% |
| | 平均 | 2.79 | |

例：①対ほかの利用者 ②対家族 ③対職員

■具体的な理由を教えてください。（主なもの）

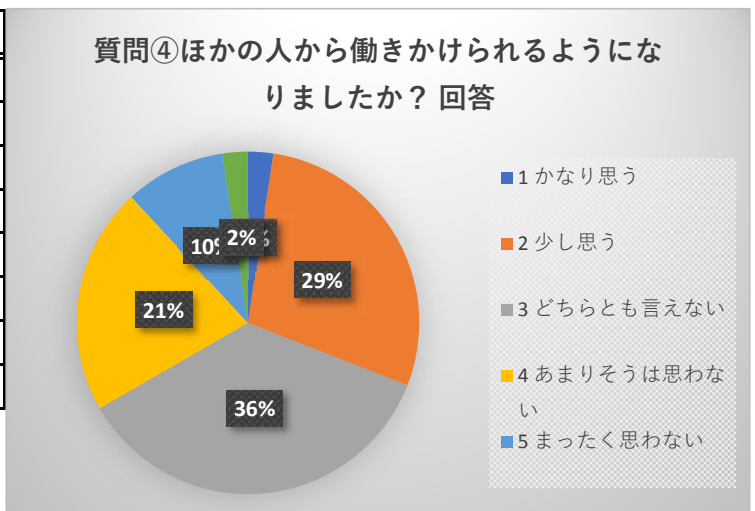
- ・あまり言葉を話さない利用者同士がパロを通じて会話をし、コミュニケーションが図れた。
- ・その日の相手状況で変化する。
- ・利用者、家族、職員の話になっていた。
- ・女性の利用者同士がパロを介して会話をするようになり、より会話が盛上がった。
- ・パロに向かっては話しかけていた。（3件）
- ・一人で見ている方やポーッとされている方には持って行くこともあった。
- ・触りながら、他の利用者様にも「こうやってするのよ」などの声掛けする場面が見られたり、普段あまり話していない利用者様との共通の話題ができたことで、話ができたりする場面があった。
- ・男性のテーブルに置いても興味を示す利用者は少なかった。
- ・近くにいる利用者に話しかけたり、なでる、握るなどの動きがあった。
- ・徘徊する利用者、不穏な利用者に渡すことで緩和することができた。
- ・パロを見て他の利用者に「かわいいね」と声を掛けていた。



◆質問④ほかの人から働きかけられるようになりましたか？

| | 選択項目 | 回答 | 割合 |
|---|------------|------|--------|
| 1 | かなり思う | 1 | 2.4% |
| 2 | 少し思う | 12 | 28.6% |
| 3 | どちらとも言えない | 15 | 35.7% |
| 4 | あまりそうは思わない | 9 | 21.4% |
| 5 | まったく思わない | 4 | 9.5% |
| 6 | 未回答 | 1 | 2.4% |
| | 合計 | 42 | 100.0% |
| | 平均 | 3.00 | |

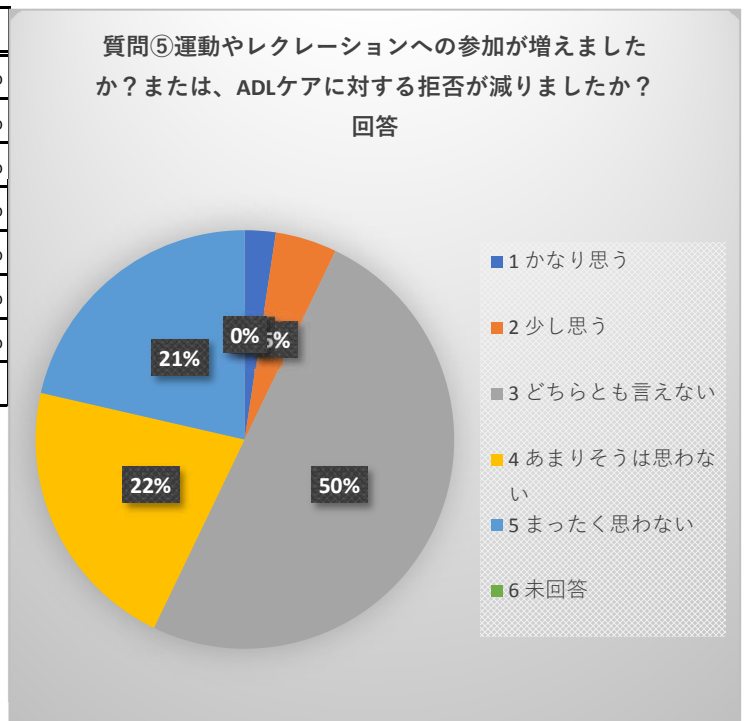
■具体的な理由を教えてください。（主なもの）



- ・パロで遊んでいる際に声をかけられやすくなった様感じた。
- ・職員から働きかける必要があり。
- ・使用すると利用者の表情が良い時もあるので、他職員がアプローチを行っている。
- ・他の利用者からでパロを貸してくださいと申し出があった。購入すればいくら費用が掛かるのかと質問があった。
- ・利用者が他の利用者にパロを紹介していた。
- ・誰もいないテーブルの上に置かれていることもあった。
- ・触っている利用者様にスタッフから声掛けを行うことは増えたと思う。
- ・他の利用者との会話は増えた。
- ・本人がパロを持っていると周りの利用者や職員が集まり会話が増えた。
- ・他利用者様、職員のコミュニケーションに繋がった。

◆質問⑤運動やレクレーションへの参加が増えましたか？または、ADLケアに対する拒否が減りましたか？

| | 選択項目 | 回答 | 割合 |
|---|------------|------|--------|
| 1 | かなり思う | 1 | 2.4% |
| 2 | 少し思う | 2 | 4.8% |
| 3 | どちらとも言えない | 21 | 50.0% |
| 4 | あまりそうは思わない | 9 | 21.4% |
| 5 | まったく思わない | 9 | 21.4% |
| 6 | 未回答 | 0 | 0.0% |
| | 合計 | 42 | 100.0% |
| | 平均 | 3.55 | |



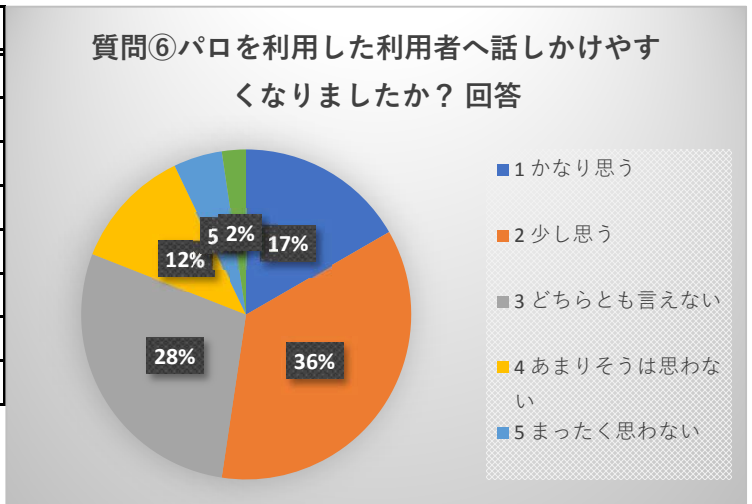
■具体的な理由を教えてください。（主なもの）

- ・はっきりした変化が見られた。
- ・女性の方が好意を示されていた。
- ・他の活動に繋げるには、もっと使用期間が必要だと考えられる。
- ・パロを抱きあげたり、握ったりはするがその他の変化は見られなかった。
- ・特にレクレーションの参加が増えることはなかった。

●【職員】

◆質問⑥パロを利用した利用者へ話しかけやすくなりましたか？

| | 選択項目 | 回答 | 割合 |
|---|------------|------|--------|
| 1 | かなり思う | 7 | 16.7% |
| 2 | 少し思う | 15 | 35.7% |
| 3 | どちらとも言えない | 12 | 28.6% |
| 4 | あまりそうは思わない | 5 | 11.9% |
| 5 | まったく思わない | 2 | 4.8% |
| 6 | 未回答 | 1 | 2.4% |
| | 合計 | 42 | 100.0% |
| | 平均 | 2.45 | |

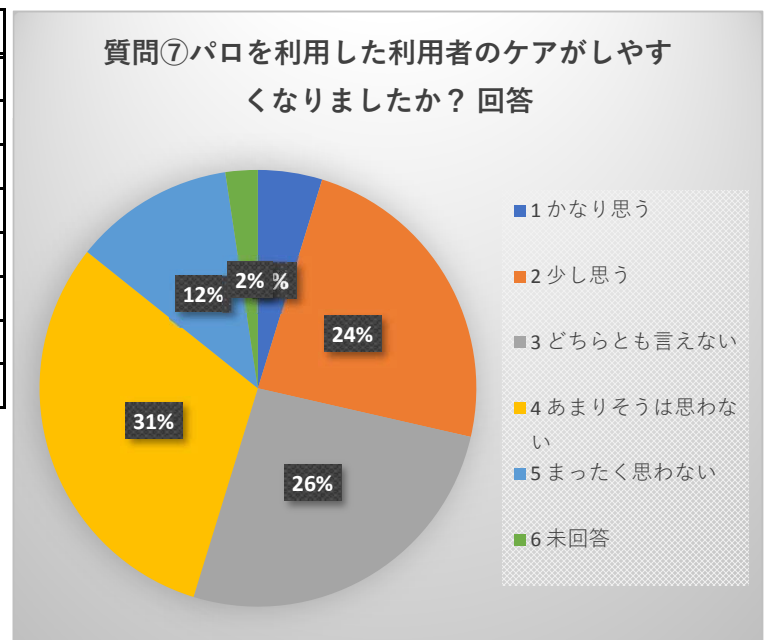


■具体的な理由を教えてください。（主なもの）

- ・表情が見られ談話の機会が増えた。（4件）
- ・他のスタッフから良くなったと聞きました。
- ・覚醒されている時間が増え、声を掛けやすくなったのではないか。
- ・介護ロボットを知るきっかけになる事になった。
- ・コミュニケーションの手段として利用できる。
- ・パロを利用している時には、話題になった。
- ・比較的話しやすい人が喜んで利用していた。
- ・パロ機能を通所の利用者に情報提供することにより、コミュニケーションが図れた。（4件）
- ・表情や機嫌が良いので話しかけやすかった。
- ・パロを触っている時などその場は穏やかである。
- ・パロに触れ合いながら、一緒に会話をしたり遊んだり出来た。
- ・話題が出来るので、会話の量は増えた。（3件）

◆質問⑦パロを利用した利用者のケアがしやすくなりましたか？

| | 選択項目 | 回答 | 割合 |
|---|------------|------|--------|
| 1 | かなり思う | 2 | 4.8% |
| 2 | 少し思う | 10 | 23.8% |
| 3 | どちらとも言えない | 11 | 26.2% |
| 4 | あまりそうは思わない | 13 | 31.0% |
| 5 | まったく思わない | 5 | 11.9% |
| 6 | 未回答 | 1 | 2.4% |
| | 合計 | 42 | 100.0% |
| | 平均 | 3.14 | |



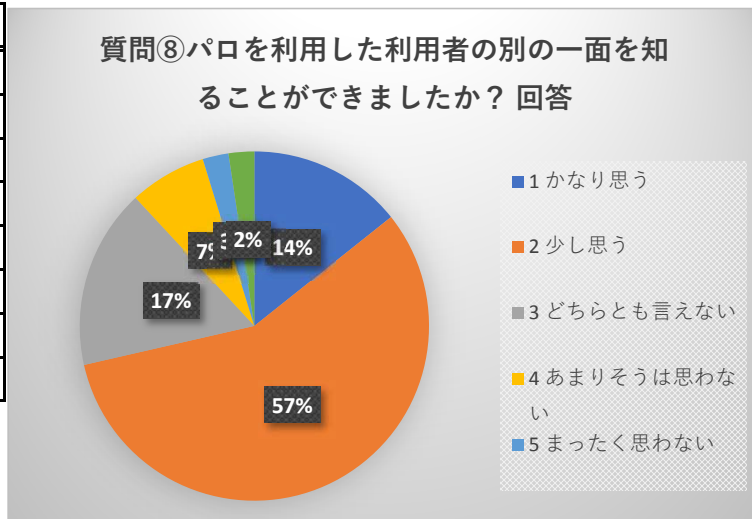
■具体的な理由を教えてください。（主なもの）

- ・他のスタッフから良くなったと聞きました。
- ・その日の相手の気分に左右される。
- ・積極的に触られる方が多かった。

- ・入浴待ちも利用者を使用することで、時間の間が保てた。
- ・徘徊行動が減ったため、他利用者の目配りもできようになった。（3件）
- ・傾眠状態の利用者様については効果的だと思う。

◆質問⑧パロを利用した利用者の別の一面を知ることができましたか？

| | 選択項目 | 回答 | 割合 |
|---|------------|------|--------|
| 1 | かなり思う | 6 | 14.3% |
| 2 | 少し思う | 24 | 57.1% |
| 3 | どちらとも言えない | 7 | 16.7% |
| 4 | あまりそうは思わない | 3 | 7.1% |
| 5 | まったく思わない | 1 | 2.4% |
| 6 | 未回答 | 1 | 2.4% |
| | 合計 | 42 | 100.0% |
| | 平均 | 2.19 | |



■具体的な理由を教えてください。（主なもの）

- ・感情があり、普段と違った一面が見られた。
- ・かわいい、かわいいと撫でられていた。
- ・やさしい表情を見ることができた。
- ・笑顔や自分の過去を話してくれる利用者もいた。
- ・真剣に話しかけている様子が覗えた。（3件）
- ・普段見られない表情や発語を行なったことがあった。
- ・利用者が動物をかわいがる一面が見られた。（5件）
- ・驚きやかわいがる様子が見られた。
- ・男性は会話を促されると照れる人が多かった。
- ・興味を示さないように感じていた利用者様がパロが近くにいる時に積極的に関わっている場面は見られた。
- ・あまり表情の変化のない利用者から笑顔が多く見られた。（2件）
- ・発語の見られない利用者がパロの名前を呼んだりしていたのを見ることができた。
- ・男性の利用者で意外な一面を知ることが出来た。

利用者様がパロをとってもかわいがっている所が微笑ましかった。

- ・男性利用者の反応が良かった。

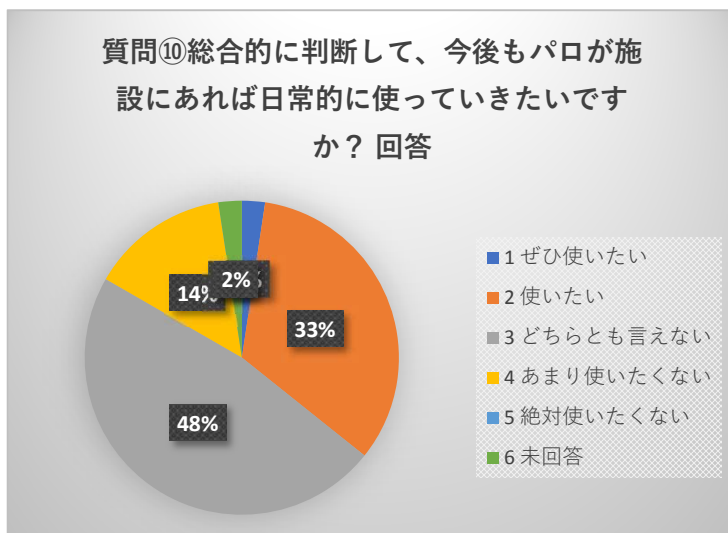
◆質問⑨逆にパロを利用したことで業務負担が増えましたか？

- ・高価の物であると思いから、パロに対して汚れていないか不備はないか、壊れていないかと気を使った。（6件）
- ・持ち運びが必要で、充電も面倒だった。
- ・好まれる利用者とながれる利用者があり、同席になると仲裁に入る場面があった。
- ・他の利用者が使用していると「あれは私の物」と発言があったので、今回はトラブルはなかったが利用者によっては、トラブルになる可能性はある。
- ・認知症の利用者には、理解が難しく効果が薄いように感じた。また、パロを叩いたりするので、管理面で問題あり。
- ・特に業務負担が増えたことはない。
- ・毎日の充電が業務負担を感じた。（2件）

- ・多数の利用者が触るので衛生面や感染対策の必要性を感じた。
- ・高価なものなので職員も故障することを恐れてうまく利用することができなかった。
- ・感染症流行の時期に検証を実施したため、感染面に十分に配慮を要した。

◆質問⑩総合的に判断して、今後もパロが施設にあれば日常的に使っていききたいですか？

| | 選択項目 | 回答 | 割合 |
|---|-----------|------|--------|
| 1 | ぜひ使いたい | 1 | 2.4% |
| 2 | 使いたい | 14 | 33.3% |
| 3 | どちらとも言えない | 20 | 47.6% |
| 4 | あまり使いたくない | 6 | 14.3% |
| 5 | 絶対使いたくない | 0 | 0.0% |
| 6 | 未回答 | 1 | 2.4% |
| | 合計 | 42 | 100.0% |
| | 平均 | 2.69 | |



■具体的な理由を教えてください。（主なもの）

・一人の利用者を対象に長期間検証事業を実施できればもっと効果があるのではないかと感じた。（2件）

・長期間使用してパロの持つ力を最大限に活用し、利用者に対する心のケアの改善が期待できる。

・どうしても触るので、落としたり壊したりするリスクがあるので、頑丈な作りが求められる。

・アニマルセラピーとしての効果を感じる事が出来た。

・認知症ケア学会で効果の実例報告があった。

・利用者によっては、世話をしようとする様子が見られた為、活用すれば利用者の関わりが期待できる。

・職員側から働きかけ活用したいと思う。

・介護保険利用者に関しては、自分で移動ができないことから、娯楽を提供することにより、利用者の癒しの効果が期待できる。

・実際に動物を飼うことにより、アニマルセラピーなどの効果が期待できるが、衛生面の理由から施設で飼育することは実際不可能であることから、介護ロボットの活用が有効である。

・新しいものではあるが、持続して使用する利用者は少なかった。

・触ったりすることでかわいがられる利用者が多く、笑顔や両手の動きが増えた。

・デイケアでは著名な認知症の利用者がいなかったもので、認知面や情緒の安定については、もう少し検証が必要だと思われる。

・日中、時間を持て余している方に提供したい。

・近くにあればパロに話しかける利用者もいると思う。

・動物よりも話ができるAI機能のコミュニケーション型ロボットの方が効果が期待できる。

・高価であり持ち運べるので、壊してしまうことや紛失するリスクが伴うのが心配である。

・パロを導入した直後は「かわいい」と言われ、利用者も喜んで触っていた。

・怖いと言われる利用者や興味のない利用者も見られていた。

・グレーよりも、色が明るいほうが良かった。

・2, 3台同時に使用してみたい。

・利用者様の喜ぶ顔が見てみたい。

・利用者様の笑顔ふえるのではないかと感じた。

・精神的疲労が減る。